

Instagramの ティーンアカウントについて知ろう

10代の子どもたちのための保護機能を自動で適用

ティーンアカウントって、何？

保護者の見守りのもとで安全にInstagramを利用できるよう、
10代の子どもたちのために開発された体験。

- ・13歳～17歳の子どもが対象 ・安全のための様々な機能や設定が自動的に適用
- ・新たにアカウントを作成する場合だけでなく、既にInstagramを利用している場合も自動的に移行
※後者は順次適用、数ヶ月以内にすべての対象者に適用される予定（2025年3月時点）



どんな機能や設定が適用されるの？

ティーンアカウントには、保護者の懸念に応える様々な機能や設定が組み込まれています。

非公開アカウント

自動的に非公開に設定されるため、フォロワー以外の人たちが
子どもの投稿を見ることはできません。
また、新しいフォロワーからのフォローリクエストは
都度承認する必要があります。

- ※既に利用しているアカウントが公開設定の場合、
自動的に非公開に変わるのは13～15歳のみです
- ※新しくアカウントを作成する場合は
13～17歳のすべての子どものアカウントが非公開になります



ダイレクトメッセージ(DM)

子ども自身がフォローしているアカウント、
もしくは既に繋がっている相手からの
メッセージ(DM)しか
受け取ることができません。



不適切なコンテンツ

発見タブやリールなどで目にする
不適切なコンテンツ
(人々が戦う様子や美容整形を勧める内容など)
の種類が制限されます。



利用時間の管理

1日の利用時間が60分を超えると
アプリを閉じるように通知が届きます。
また、午後10時から午前7時は
スリープモードが適用されて
通知がミュートになり、
DMには自動返信メッセージが送信されます。



設定を変更するための方法

13歳～15歳の子どもが設定を変更(緩和)するためには、
Instagramのペアレンタルコントロールを使って保護者の承認が必要です。

ペアレンタルコントロールを利用すると、
16歳～17歳の子どもでも設定を変更する際に保護者の承認が必要な仕組みに変更できます。
また、子どもがフォローしているアカウントを確認したり、1日の利用時間を制限するなどの機能も利用可能です。

一緒に我が家のINSTAANZENルールを決めてみよう

InstagramやSNSを安全に利用するためには、
ティーンアカウントやペアレンタルコントロールツールなどを活用することに加えて、お子さんと話し合うことが大切です。
安全のためのルールには子どもや家庭の数だけ正解があります。
以下のヒントを参考にしてお子さんと話し合い、自分たちに合うANZENルールを決めてみましょう。



お互いの話をよく聞いて、
一方的な会話にならないようにしましょう。



話し合いの内容や、利用についてのルールには
正解も不正解もありません。
自分たちにとって効果的な方法を探しましょう。



子どものプライバシーを尊重することも
忘れないようにしましょう。



ティーンアカウント
について
詳しく知りたい場合は
QRコードをスキャン

